

平成22年度一宮町まちづくり町民提案事業一覧

NO.	団体名及び 代表者氏名	事業名	当初事業費	補助要望額	補助対象事業費	補助決定額	審 議 内 容
1	憩いの森で遊ぼうよ〜♪ 千葉一	「憩いの森で遊ぼうよ〜♪」(2年目)	270,000円	180,000円	220,000円	146,000円	<p>内容の工夫もみられ四季ごとのイベントでは多くの町民の参加を得ており評価出来る。「直そうよ」や「作ろうよ」など新しい試みは、産業観光課との協働作業として進めて頂きたい。この事業を継続することは町の施設の利用、活用に関心を呼ぶ効果がある。</p> <p>今後は、憩いの森を将来どうしようか、又現状の問題点をどう解決したら良いのか、計画と併せ明確化し、将来の維持管理、活用方法につなげてもらいたい。</p> <p>【総事業費270,000円の内、他団体と比較し人件費50,000円はボランティアでお願いしたい。そのため、補助対象事業費を220,000円とし、補助額は今年度146,000円とする。】</p>
2	上総ECOエネルギー プロジェクト 大澤 進	BDFでエネルギーの地 産地消！(2年目)	1,326,597円	500,000円	1,326,597円	500,000円	<p>3年後も継続できる将来にわたった事業計画（採算性）をつくり、「将来求められるレベル」と「現状活動のレベル」とのギャップを明確化し、赤字部分の解消方法の方策を今年度検討して頂きたい。</p> <p>【上記のことを検討することを条件に500,000円の補助額とする。】</p>
3	4D MAPS一宮町 石尾 徹	4D MAPS一宮町 (2年目)	1,996,450円	500,000円	1,996,450円	500,000円	<p>成果物、事業について評価出来る。</p> <p>しかし、完成された時点、あるいは完成後の「著作権」について、今後協議すべき。</p> <p>【要望どおり500,000円の補助額とする。】</p>
4	138子育てネットワーク 藤井 幸恵	子育ておしゃべりカフェ (2年目)	64,000円	10,000円	45,100円	10,000円	<p>子育てで一番悩み、問題を抱えている関係者の息抜き場として最適。</p> <p>【要望どおり10,000円の補助額とする。】</p>
5	日本の海岸環境を守る会 芝本 聖子	Kid's surf コンテスト (2年目)	689,500円	459,000円	243,500円	150,000円	<p>年一回の「サーフィンコンテスト」を開催するだけでは、日本の海岸環境を守ることに繋がってこない。むしろ、3年間を通し、「サーフィン愛好者」に協力を呼びかけ、定期的に（月一回＝海岸環境を守る日）等を設定し、活動してみることの検討も望む。</p> <p>【総事業費689,500円の内、他団体と比較し人件費はボランティアでお願いしたい。又賞品代、広告代も減額。補助対象事業費を243,500円とし、補助額は今年度150,000円とする。】</p>
6	房総まちづくりNPOハウス 宗形 祥子	一宮町移住・定住 促進 事業(1年目)	820,000円	500,000円	—	0	<p>県内でも館山の「NPO法人おせっ会」、木更津市の「NPO法人南房総の里」、君津市の「NPO法人久留里フィールドミュージアム」等、移住・定住を呼びかける団体が見受けられる。</p> <p>ここで注目すべきは、隣接するいすみ市の動きで、行政にも市民にも「人口減少に歯止めをかけなければ」という危機意識があったことから、商工会メンバーが「NPO法人いすみライフスタイル研究所」（20年5月）を設立し、市が公募した移住希望者を対象とする「体験・交流ツアー」の委託先として名乗りをあげて実施した。その後、市が「いすみ市定住促進協議会」（21年7月）を設立したのを機に一員に加わっている。</p> <p>同協議会は、行政、NPO、移住者、地元農家、不動産業者、商工業者、旅行者など多種多様なメンバーで構成され、月1回開催。これまでに、21年10月に「相談窓口・いすみ暮らしサロン」（毎土・日曜日に相談受付）がオープンしている。「体験・交流プログラム」も実施し、いすみ市PRプロモーションビデオを手掛ける。</p> <p>一宮町の「房総まちづくりNPOハウス」による本提案は、「移住」「定住」「二地域居住」などでの、人口増によって活気ある町づくりが可能としているが、一宮町の現況は、いすみ市にみるような「人口減少」が「町民みんなの危機意識」となっておらず、特に商工会・観光協会・旧住民（農家）といった人々の参加を得ずに進めるのでは、町民提案事業としてむりがある。様々な立場の人々が加わった協議会を設置できるような「計画づくり」が先決と考える。</p> <p>一宮町の場合は、東京から特急列車で1時間、海、山、川の自然に恵まれ、移住の条件は地理的</p>

							に整っており、子育て、老人対策、旧住民との兼ね合い等、一宮町では定住に関しどのような問題があるか調査し、定住の問題を一つ一つ取り除いていければ、移住者は増えると考えます。できることであれば、そういったことをぜひ町民提案事業でお願いしたいと思います。今回の提案は移住定住の冊子を作ることで前面にだされていますが、冊子を作る前に、「計画づくり」が必要と考えます。 【不採択】
7	一宮手話サークル 林 一雄	初心者のための手話講座(1年目)	60,000円	40,000円	—	0	事業内容が、「手話による講演会」だけでは、町民からの新しい内容をもつパイロット的提案を求める本事業のひとつとはなしづらい。スタンダードな取り組みが必要な活動である。3年間のプロジェクトとして「手話による学習と交流」の実績を積んで、その後に新たな「手話コミュニケーションの場」を創出するような提案なら、「福祉のまちづくり」に貢献する活動と期待される。 【不採択】
8	加納久宜公研究会 林 一雄	城山公園の加納さんに 献花する会(1年目)	180,000円	120,000円	—	0	事業は単年度ごとの事業と考えているとのことですが、町民提案事業の大きな目的は団体の育成にあります。補助金がなくなった後もその団体でその事業が継続できるということが大きな議論の一つとなります。 そのためには、団体としてのメンバーをしっかりと集め(組織化)、最終ゴールへ向けた様々な活動の詳しい内容と計画(継続性)を立ててから提出願えればと考えます。 【不採択】
合 計			5,406,547円	5,388,547円	3,891,647円	1,306,000円	